

# とんがらし通信

楽しい！美味しい！  
So Happy !!!

No.279

## ～主な内容～

- ・施設長コラム
- ・活動紹介  
( すべて、亀塚温泉、バスケ観戦、  
グルメレポ ほか)
- ・突撃!!インタビュー・つどい応援団  
ほか
- ・研修報告

仙台つどいの家 編集室

発行責任者 山口収

発行日 2026年 1月25日

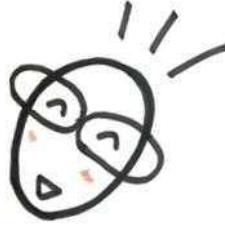
〒983-0836

仙台市宮城野区幸町3 丁目12-16

Tel 022(293)3751 Fax 022(293)3752

E-mail [sendai@tsudoinoie.or.jp](mailto:sendai@tsudoinoie.or.jp)

ホームページ <http://www.tsudoinoie.or.jp>



## 新年早々、北條民雄に胸が疼く の巻

新しい年を迎えました。流行りに乗っかるわけではありませんが昨年より年賀状による新年のご挨拶を控えさせていただいておりますので、紙面をお借りして、本年もどうぞよろしくお願ひいたします！

さて、今年も長い年末年始のお休みでしたが、終わってみれば案外あつという間だったような。。。駅伝を観たり、特番を観たり…怠惰に過ごしているうちに、気づけば『もう明日から仕事だ！』ってな感じでした。。。

そんな中で、年始に出会った1冊の本がとても印象に残りました。『無意味なんかじゃない自分～ハンセン病作家 北條民雄を読む～』(荒井裕樹 著)。夢中になって、それはもう一気に読んじゃいましたよ！ハンセン病を患い専門の療養所に隔離収容されていた北條民雄が、療養所の中で著した小説『いのちの初夜』。この小説と北條自身が遺した日記を読み解き、過酷な境遇に置かれた人が同じ境遇の人に対して怒りや不安・いらつきをぶつけることで苦しみを紛らわし、自身の有用性を確認したいと欲することは果たして許されるのか、という大変難しい問いを問うていこうという1冊です。それにしても『いのちの初夜』。何度も読んでも胸が疼きます。。。

ハンセン病は、『らい菌』による感染症で、以前は『らい』『らい病』などと呼ばれていました。感染力がとても弱く、特効薬の開発などにより通常の文化水準の国では半世紀以上も前から完治する病気になっています。日本でももちろん戦後の早い段階には、適切な治療により完治し、決して蔓延することのない病気であることは分かっていました。にもかかわらず、わが国では20世紀初頭からおよそ90年もの長きに亘って『らい予防法』の下、患者を国立療養所に強制的に収容し終身隔離するという政策がとられました。後遺症による患者の容姿の特徴（末梢神経の麻痺により顔や手足に化膿や欠損が生じることがありました）や病気そのものに対する誤解（感染力が強い・不治の病・遺伝性の病気と考えられていた時代がありました）によりこの病気が非常に恐れられ社会的に負の烙印を押されてしまったことがその要因です。療養所に収容・隔離された患者たちは、帰省も許されず断種や墮胎が強制されるなど、無秩序な人権侵害が繰り返されました。同様に患者の家族たちも、不当な差別や偏見に晒され、悲惨な状況に追い込まれます。県が主導する形で『無らい県運動』が各地で活発に行われ、患者家族の周辺では一家離散・就職差別・結婚差別・放火・いじめなどが日常的に起こっていました。一部改正などを経てようやく『らい予防法』が廃止されたのはつい最近、平成8年のことです。実に90年の時を経て、ようやく強制隔離収容政策が見直されたのでした。。。

しかし。現在も全国14箇所のハンセン病療養所に641人の元患者の方が入所されています。そして平均年齢は89歳を超えています。強制収容が長期化する中で、必然的に入所者の年齢層は高くなりました。らい予防法が廃止された現在、死亡退所などにより入所者数は減少の一途をたどっています。それでも『ゼロ』にならないのは、帰るべき故郷を失い終の棲家として療養所にとどまらざるを得ない元患者が今もいるためです。全国ハンセン病療養所入所者協議会（全療協）の屋（おく）会長は『全療協が旗を降ろすまで、あと5年くらいだろう。何を言い残していくか考えている』と話します。また、国立ハンセン病資料館名誉館長の成田さんは『療養所に暮らす人がひとりもいなくなり、ハンセン病がみんなの記憶から消えることで差別・偏見がなくなる。そんな時代がいつかやってくるのかもしれないけれど、それでは意味がない。やはりハンセン病の記憶が残っているうちに差別、偏見をなくしていかなければならない』と述べます。

壮絶な差別と偏見に満ちたハンセン病の歴史を正しく理解して後世に伝えていくことは『いま』を生きる私たちの役割なのではないでしょうか。『無知』は『差別』を繰り返します。ハンセン病を知ることは『人権』を考えることにほかなりません。（管理者 山口 収）

（毎年1月の最終日曜日は『世界ハンセン病の日』です。ハンセン病の正しい理解と風化防止のため、日本を含め世界各地でイベントが行われます。今年の世界ハンセン病の日は1月25日です！）



# 仙台つどいの家 すてーじ

12月12日せんだいメディアテークにて仙台つどいの家「すてーじ」を開催しました。

すてーじでは毎年、職員が利用者さんの日々の活動、暮らし、生き方に触れて得られたたくさんの気付きや発見、喜びや感動などを心を込めてまとめた短い映像作品を上映しています。

今年度は第一部の講演で、ゲストスピーカーとして、訪問の家 集 支援課長 川端望美さんにお越しいただき、「集とつどい」というテーマでご講演いただきました。訪問の家 集の皆さんのが日頃の活動や地域の中で取り組んでいることを改めて知ることができ、また、震災時やコロナ禍を含めて、訪問の家集とつどいの家のつながりや過去の交流も振り返ることができる良い機会をいただけました。仙台つどいの家の利用者さんの写真を使っていただいたり、お声掛けいただいたりして、見ていた利用者さんたちも嬉しそうにされていました。

第二部では、高橋智子さん（2018年度作品）、栄養士 佐藤ゆき子さん（おまけ）、高橋邦明さん、櫻井賢治さんの全4作品のすてーじを上映しました。

高橋智子さんのすてーじでは、主たる介護者であったお母様が急に亡くなり、離れて暮らしていたご家族がそれぞれ智子さんの生活を取り戻すために悩み、決断し、協力し合って前に進んでいく様子が描かれています。

栄養士 佐藤ゆき子さんのすてーじでは、仙台つどいの家の給食を通して利用者さんの食の楽しみや生活の幅が広がるように試行錯誤する日常に迫りました。

高橋邦明さんのすてーじでは、グループホームに入居して心身共に様々な困難に直面し、お父様や支援者が悩みながら支援してきた過程とその思い、そして、邦明さん自身がグループホームの仲間たちとのつながりを持つことで乗り越え、仲間の輪の中で自分らしく暮らせるようになった姿を映し出しました。

櫻井賢治さんのすてーじでは、昨年肝臓がんでお亡くなりになった賢治さんが、病気がわかってからも入院ではなく在宅で生活し、ご家族や仙台つどいの家の仲間と一緒に最期まで自分らしく生き抜いた日々を描きました。

笑いあり、涙ありの素敵なお話を上映することができ、会場にいた方々の心に残る時間をお届けすることができたと思います。

アンケートでいただいた感想を一部紹介させていただきます。

- 「集」の対外的な取り組みや各個人に適した働きに取り組んでいることに新しい発見がありました。
- 「親なきあと」自分たちはどうしていこうか…思いを巡らせながら眺めました。本人と家族の幸せを思い、どう考え準備・選択していくかには色々な形があつていいのだろうと思いました。
- 利用者さんの顔は知っていても、どういうしょうがいがあってどういう生き立ちでどう接さないといけないというのも聞けてよかったです。それが意味があって伝えようとしてるんだというのも。
- 毎回とても工夫を凝らして、利用者さんたちの人生を追いかけている。栄養士さんの活動もとても興味深かった。

ご来場いただいた皆様、ありがとうございました。来年度もぜひご来場ください。

（記：菅原）





# 亀塚温泉の足湯に入ろう！



昨年 11 月に、邦明さん・春さん、ゆかりさん・耕太さん、晃歩さんの皆で岩沼市にある亀塚温泉へ行ってきました！ 1 階が保育園と障がいをお持ちの方々のデイサービス、2階にお食事処や温泉などがあり、どんな方でも交流できる「ごちゃまぜ」な場というのがコンセプトとのことで地域の皆さんや色々な方々が楽しんでいました。現地に到着し、まずは「食事処やぶ亀」というお蕎麦屋さんで昼食にしました。お蕎麦以外にもかえしを使用した丼物や期間限定ですがはらこ飯、クリームソーダやフロートなどの甘味もあり各々食べたい物を注文し、舌鼓を打ちました。お腹も満たされ、いよいよ目的の足湯へ！ 足湯は2階テラスにあり屋根も付いていてしかも無料で利用でき、足拭き用タオルも完備というまさに至れり尽くせりです！ 今回行った8名全員一緒に入れる位の広さもあります。湯加減も良く、邦明さんとゆかりさんはとてもステキな笑顔で談笑しながら入り、晃歩さんは時に真剣顔で時にニコニコしながら入り、耕太さんはタオルを頭上に乗せて目を閉じ、腕を組みまるで全身浸かっているかのようにリラックスしていて、春さんは湯上り後テラスで風を浴びながらさわやかに外の景色を眺めています。他にも温泉はもちろんスポーツジム、駄菓子や地元スイーツ・採れたて野菜販売など、どなたが行っても楽しめる「ごちゃまぜ」な場所です。皆さんも一度遊びに行ってみてはいかがでしょうか！（記：鈴木洵）



## 「もりのみやこのふれあいコンサート」に 行ってきました♪

今回は各グループから 2 名ずつ参加し、みんなで音楽を楽しみました。演奏曲は、ヘンデルの「水上の音楽」や「くるみ割り人形」、お祭りの曲、クリスマスフェスティバルなど、どこかで聞いたことのある親しみやすい楽曲がたくさんありました。くるみメンバーの真哉さんは、始まる前は少し緊張している様子でしたが、演奏が始まると表情もやわらぎ、音楽に聴き入っていました。楽しい場面ではニコニコと笑顔を見せ、しっとりしたメロディでは感動している様子も見られました。邦明さんは前半少し眠そうでしたが、後半になると目をぱっと開き、最後まで集中して聴いていました。めいぶるのゆかりさんは、クリスマスソングが流れると誰よりも早く拍手をしたり、思わず手が動いてしまうほど楽しんでいました。もみじメンバーの成児さんは、落ち着いて聴きながらも、お祭りの曲やクリスマスソングでは身体を前後に揺らし、音楽に乗っている様子でした。みんなでコンサートに出かける機会はなかなかありませんが、利用者さん一人ひとりが音楽を楽しみ、素敵な時間を過ごすことができました。またこのような機会があれば、ぜひみんなで参加したいですね♪（記：松崎）



ココロの山を登る!?

# 漫画盛りメシを食べてきた!

12月某日、つどいの家のいっぱい食べるメンバーで新田にある漫画盛りメシで有名な「マハロダイニング」へ行きました。漫画盛りとは、まるで漫画に出てくるような大盛りのご飯のことで、特に、度々つどいの家のホームページに「咲子のグルメレポ」を掲載している咲子さんは数日前から楽しみにしていました。

樹さんと春さんはお店の人気メニューであるコク味噌野菜ラーメン、晃歩さんは中華肉ナス丼を注文。皆さんスリムな割にぺろりと完食!どこに入っていくのやら・・・。

咲子さんはからあげ1.5倍定食・ご飯漫画盛り(650g)を注文。咲子さんに感想を書いていただいたので抜粋して紹介いたします。

大きいから揚げは、衣がカリッと、中が柔らかく、やや薄目な感じ。その一方で…ご飯(650gのマンガ盛り)は…よく見てみると、盛られたご飯の形がまるで「▲ココロの山」のように見えてた。ワタシには、まるで「頑張るためのパワー」をくれるように見えてきたのだった。(咲子さんの感想)

咲子さんは無事食べきることができたのでしょうか・・・。気になる方はぜひつどいの家のブログ「咲子のグルメレポ」をチェックしてみてください!!

自閉症のある方と楽しい時間を過ごしていると、楽しすぎて少し大きな声が出てしまい周りの目を引いてしまうことがあります。しかし、マハロダイニングの店員さんに「気にしなくていいですよ、また来てくださいね~」と優しく声を掛けていただき、このつながりが今後とも深くなると嬉しいな~と感じました。

(記:松原)

## 89ERSバスケ観戦!

けやきの司さん、もみじの翠さんがゼビオアリーナへ仙台89ERSの試合を観に行きました!室内も暖かく、車いす席も広くとられていてゆったり観戦できました😊早めに会場に入ったので試合開始まで時間がありましたが、応援の練習やDJのマイクパフォーマンスなど試合前からライブ会場のような盛り上がりで、休む暇もないほどでした。音や光もたくさん感じられ、翠さんもキラキラした表情で「キャ~!」とテンションが上がっていました。司さんはというと、試合中は真剣な顔をして終始前のめりで観ており、グッズのユニフォームも相まって監督のような貫禄でした・・・!バスケは試合展開が早く、場面の切り替わりが激しいのでお二人も飽きずに観戦できました。試合も見事89ERSが勝利し、とても気持ちよく帰ることができました。

行き帰りともに車から降りる際、心優しい警備員さんが関係者専用駐車場に誘導してくださいり、スムーズに会場に入ることができました。乗り込む際にも丁寧に誘導してくださいり、とても心温まる体験ができ、今後も積極的に外出していくこうと思えた瞬間でした。

(記:鈴木芽)

# ぽけっとぴーすの森 職員研修会



令和7年11月29日に 山形県寒河江市にある【しょうがい児者通所支援事業所 ぽけっとぴーすの森】の職員研修会で「仙台つどいの家のこと」をお話ししてきました。

【ぽけっとぴーすの森】は、放課後等デイサービスや生活介護事業を行っています。年に数回 全職員が集まり研修会を実施しており、職員のスキルアップを図っています。

今回 その職員研修会で「仙台つどいの家の取り組み」のお話と、「すてーじ の映像1作品」の上映を行いました。仙台つどいの家の支援や活動のお話では、仙台つどいの家の特徴でもある外出活動を紹介して、利用者が行きたい場所や好きそうな場所、行ったことがない場所などへの外出活動を通して社会参加や様々な経験を沢山することで利用者の楽しみの充実や新たな発見をしていく。また、利用者の行きたい気持ちが冷める前に早めに実施することなどをお話ししました。最後に、利用者と地域に出ることによって、地域とつながること、地域の方へ障がい者の理解を深めていくこと、利用者と共に地域を耕すこと、地域での利用者の役割を見つけることをお話ししました。

数日後に、【ぽけっとぴーすの森】の職員さんから職員研修会の感想を文書でいただき、とても嬉しい言葉ばかりで心が温まりました。ありがとうございました。同じ山形県出身の私はこれからも【ぽけっとぴーすの森】を応援していきます。日中活動の充実のため、共に頑張っていきましょう！

(記：佐藤和)

## 権利擁護・虐待防止委員会 ～ 岩佐美奈さん ～

今回、権利擁護・虐待防止委員会では、けやきグループの岩佐美奈さんについて職員全体で一緒に考える時間を持ちました。まず、それぞれが感じている美奈さんの「すてきだな！」「いいな！」と思うところを付箋に書き出してもらい模造紙へ貼りながら整理していきました。それぞれ書いた付箋をグループ分けしていくと「音楽が好き」「みんなの好きな曲を知りたいところ」「誰とでも話せる」「お出かけでいつも以上にいっぱい食べる」など美奈さんの魅力や強みがたくさん集まりました。職員同士で共通点を見つけながらグループ分けすることで、美奈さんへの理解を深める時間となりました。

後半の話し合いでは、支援の中で難しさを感じることについて共有し、本人の思いや特性に応じた支援について話し合われました。「まずは、本人の気持ちを受け止める」「本人との関わりの中で『感じたこと・楽しいこと・面白かったこと』を意識する」など日々の支援で意識したいポイントを共有することができました。

最後に、管理者の山口さんから「支援者の自分自身の気持ちや関わり、対応が利用者さんに鏡のように映っているのかもしれない。」というお話がありました。利用者さんを知ること、知ろうとする姿勢に加え、職員が自身の日頃の関わりを振り返ることでより良い支援に繋がり、権利擁護や虐待防止につながっていくのだと、改めて学ぶ機会となりました。 (記：早坂)

# 突撃!! インタビュー

# すいせんこども園

今回は仙台つどいの家のすぐお隣、幸町すいせんこども園さんにインタビューしました。先日4・5歳児の元気でかわいい園児が、自分たちで育てた立派なしめじを持ってピザ作りに来てくれました♪

## ☆ピザ作りはどうでしたか？（園児の感想）

- ・動物の形に作れたのが楽しかった。
- ・形を作るのが難しかったけど楽しかった。
- ・初めて作ったけど、ピザの生地がふわふわしていて美味しく上手にできた。
- ・ピザにソースをたっぷりのせて、なめてみたらすっぱかったけど美味しかった。



## ☆子ども達の様子はどうでしたか？（先生）

- ・作っている時は、どんな形にするかイメージを膨らませながら作ることを楽しんでいた。様々な食材を用意していただいたことで、イメージしたものを形にしやすく完成したものに満足感を感じ、焼き上がりを楽しみにする姿があった。
- ・お昼寝明けにピザを受け取りに行くことを楽しみにしていた。めいぶるさんに向かうまでの道のりでピザのいい香りに気づいて「焼けたんだね！」「早く食べたいね！」と話す姿があった。
- ・焼きたてを見て「おいしそう！」「〇〇ちゃん（君）のかわいいね」とお友達と自分のピザを見せ合ったり、実際に食べてみて「もちもちで美味しいね」「楽しかったね」「また作りたいね」と感想を言い合いながら、余韻に浸っていた。

## ☆今後、仙台つどいの家と一緒に取り組んでみたいことはありますか？

- ・つどいの家さんがどのような施設なのかを紹介していただく機会。
- ・お礼の歌を発表しにいきたい。

ありがとうございました😊子どもたちの歌、楽しみにしていますね♪

（記：菊地）



# つどい応援団！

イベントへの協力やポスター掲示、募金箱の設置など日頃お世話になっている地域のお店を紹介していくこちらのコーナー。

## plum -ぷらむ-

仙台市宮城野区幸町3丁目3-1

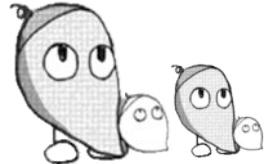
今回は洋食ごはんとエスプレッソのお店「plum」さんに話を伺いました。昨年7月にオープンしたこちらのお店は、コック姿が目を引くシェフのご主人と、優しく声掛けしてくださいるバリスタの奥様、ご夫婦二人三脚で営んでいるお店です。カフェメニューはもちろん、洋食メニューにも力を入れているようです。オススメのメニューを伺うと、ワタリガニを丸々1匹使用したインパクト大なパスタと、繊細なラテアートが施されたカフェラテを教えてくださいました。デザートの種類も豊富で、シーズンごとに期間限定のデザートも提供されています。

テラス席も用意されており、ワンちゃん同伴でも楽しめる作りになっています。昨年11月には仙台放送「あらあらかしこ」で紹介され、お客様にゆっくりと過ごして欲しい想いの一方、満席になってしまうこともあるだそう。来店の際には、予約が出来るのでオススメです！

つどいの家の利用者さんは外出が大好きです。美味しい飲み物やデザートを食べながら楽しめるカフェ外出は、味わうだけでなく、地域やお店の方とつながれる、大切なきっかけの場となっています♪

（記：熊谷）





# スケジュール schedule

## 令和8年 2月

- 2日（月）医療的ケア安全委員会
- 3日（火）イオン仙台幸町店との交流イベント
- 4日（水）ダンス！リズム！ダンス！  
13:45～仙台つどいの家ホール
- 5日（木）音楽療法①  
表現展（2/5～2/13）イオン幸町店
- 11日（水）休日開館日
- 12日（木）生け花①
- 13日（金）フードドライブ①
- 19日（木）音楽療法②
- 20日（金）ケース会議 13時30分降所  
フードドライブ②
- 24日（火）施設懇談会 職員会議
- 26日（木）コンサート 生け花②

## 令和8年 3月

- 2日（月）医療的ケア安全委員会
- 5日（木）音楽療法① 生け花①
- 13日（金）フードドライブ①
- 19日（木）施設懇談会  
フードドライブ②
- 20日（金）休日開館日
- 24日（火）職員会議
- 26日（木）音楽療法② 生け花②
- 31日（火）ケース会議 13時30分降所



## 編集後記



新しい年がスタートしました。今年は仕事もプライベートも目標を持ち、充実した一年にしていきたいと思います。寒い日が続きますが、皆さんも体調にはお気を付けください。  
本年もどうぞよろしくお願ひいたします。

（菊地）

## ご協力ありがとうございます

ボランティアとして協力して頂いた皆様  
(11月11日～1月9日まで)  
吉田さん、平さん、伊東さん、高橋さん、内海さん

## 見学・来訪者など

音楽療法：向井田先生・山崎先生・渋谷先生、生け花：濱谷先生、ダンスリズムダンス：早坂先生、ソーシャルインクルー（土屋）、ピーススマイル（上原さん・熊谷さん）、夢の森（千葉さん）、こまくさ苑（斎藤さん）、フォーレスト（手代木さん・高田さん）、ツクイ若林（松浦さん）、ゆあらいふ（福地さん）、ウェルポート仙台、東北学院大学（菊田さん）、東北福祉大学（工藤さん）、宮城教育大学（千葉さん・吉田さん）、仙台大気堂、福祉工房、菊電社、風の郷工房、共栄防災、JCI、ヤクルト、マルキ水産、サトー商会、ほまれフーズ、ダイエイミート、あぐり仙台、日本テクノ、東北食材、ホシザキ東北、ほか多数  
法人職員：理事長、佐吉、飯田、大累、佐々木（健）、高杉、小原、加藤、斎藤、今野、横山、桑原、後藤、三浦、森音、榊原、山口、大沼、佐々木、小宅、靖志、小野（麻）、福地、櫻井、彩乃  
(以上ご芳名敬称略・順不同)



## 缶回収

12月分の納品額

合計 7,590円 でした

ご協力ありがとうございました



表

現

展



利用者さんの中に秘められた想いを  
絵で、写真で、表現しました。



## 仙台つどいの家

日時: 2026年2月5日(木)～13日(金)

※最終日は15時まで展示

場所 イオン幸町店2F 連絡通路

お問い合わせ 9:00～17:00(月～金曜日)

連絡先 022-293-3751(担当:鈴木)

# Daddy Frank Band

## コンサート

令和8年2月26日(木)  
10:00開場/10:30開演  
入場料500円(クッキー・ドリンク付き)  
場所:仙台つどいの家

**【バンド紹介】**ダディー・フランク・バンド  
仙台で若い頃から音楽を愛してきた仲間3人で組んだバンド。  
主に民衆文化に根ざしたアメリカンミュージックを中心に演奏。  
懐かしくどこかで聴いた事がある様な曲の演奏を通して誰もが持っている優しさや温かさを感じられる様な音楽を目指している。  
昨年ジャズフェスティバルに出演。

リーダーフランク平間は元ハウンドドッグの高橋良秀、藤村一清らと結成した在仙バンド【ビッグステーション】のギタリスト。

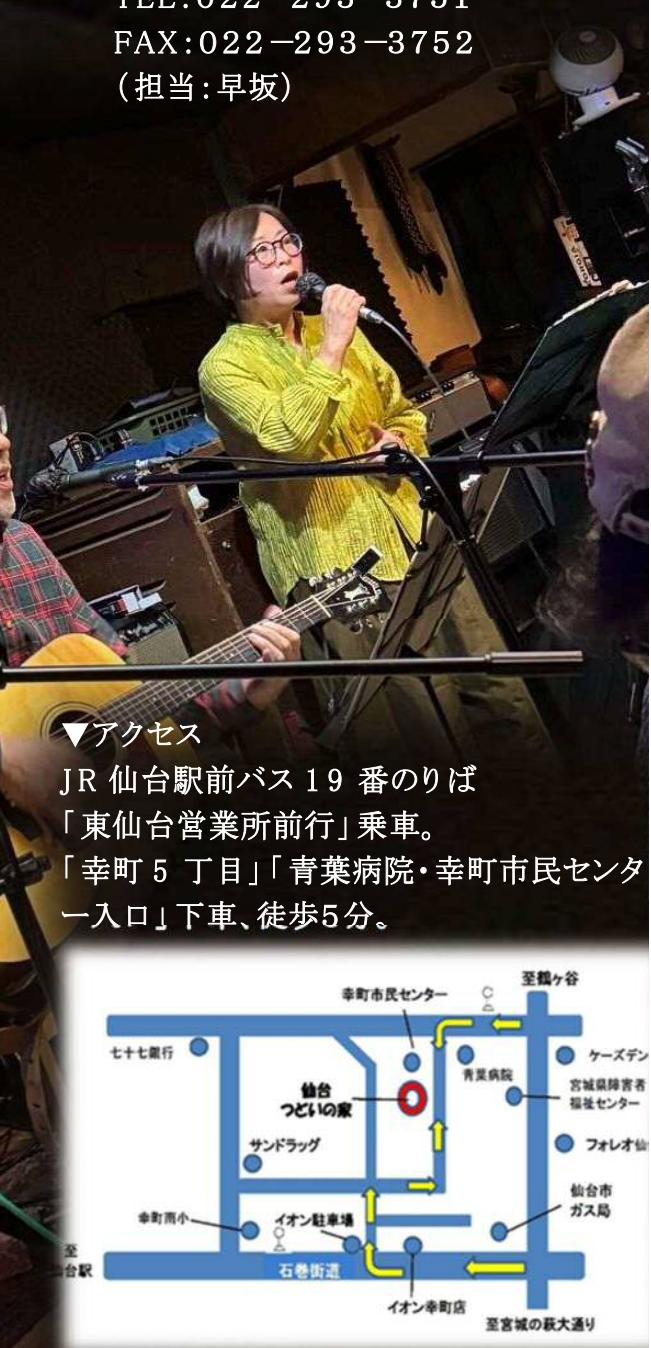
ボーカル:竹田和枝  
ボーカル・ギター:フランク平間(平間秀一)  
ギター・マンドリン:嶺岸登美雄

※参加をご希望の方は、  
2月20日(金)までに、  
下記の連絡先へご連絡ください。  
お車でお越しの方は、  
その旨もお伝えください。

**【お問い合わせ時間】**  
9:00~17:00(月~金曜日)

**【仙台つどいの家】**

仙台市宮城野区幸町3丁目12-16  
TEL:022-293-3751  
FAX:022-293-3752  
(担当:早坂)



▼アクセス  
JR 仙台駅前バス 19 番のりば  
「東仙台営業所前行」乗車。  
「幸町5丁目」「青葉病院・幸町市民センター入口」下車、徒歩5分。

